【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】平成28年12月8日(2016.12.8)

【公表番号】特表2016-500613(P2016-500613A)
【公表日】平成28年1月14日(2016.1.14)
【年通号数】公開・登録公報2016-003
【出願番号】特願2015-539848(P2015-539848)
【国際特許分類】
Ｂ６０Ｂ　1/06　(2006.01)
Ｂ６２Ｂ　1/04　(2006.01)
Ａ６３Ｂ　55/60　(2015.01)
Ｂ６０Ｂ　19/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｂ　1/06
Ｂ６２Ｂ　1/04
Ａ６３Ｂ　55/60　Ａ
Ｂ６０Ｂ　19/00　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成28年10月19日(2016.10.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数のリム部と、
複数の車輪部であって、各車輪部が、回転軸を画定するハブおよび前記ハブに取り付けられた少なくとも１つのスポークを備え、前記少なくとも１つのスポークが、前記ハブから対応する１つのリム部に延在するとともにそのリム部に取り付けられており、前記複数の車輪部が、折り畳まれた位置から展開された位置に前記回転軸を中心に互いに対して回転可能に構成された、複数の車輪部を備え、
前記折り畳まれた位置において、各車輪部の少なくとも１つのスポークが、隣接した車輪部の少なくとも１つのスポークに対して第１の角度で半径方向に離間され、前記展開された位置において、各車輪部の少なくとも１つのスポークが、隣接した車輪部の少なくとも１つのスポークに対して前記第１の角度より大きい第２の角度で半径方向に離間される、車輪。
【請求項２】
前記車輪部が、前記展開された位置において互いに対して回転から実質的に固定される、請求項１に記載の車輪。
【請求項３】
前記折り畳まれた位置において、前記複数の車輪部の前記リム部が３６０度未満で半径方向に広がり、前記展開された位置において、前記複数の車輪部の前記リム部が円形帯を画定する、請求項１又は２に記載の車輪。
【請求項４】
前記折り畳まれた位置または前記展開された位置において、前記リム部上に装着可能に構成されたタイヤをさらに備える、請求項１～３のいずれか一項に記載の車輪。
【請求項５】

各リム部がタイヤ部を備える、請求項１～４のいずれか一項に記載の車輪。
【請求項６】
各車輪部が、半径方向に構成されたスロットおよび別の車輪部の前記スロット内に受領されるように構成されたピンを備え、隣接した車輪部の前記スロット内部の１個の車輪部の前記ピンの動きが、前記隣接した車輪部に対して前記１個の車輪部の回転の範囲を画定する、請求項１～５のいずれか一項に記載の車輪。
【請求項７】
前記複数の車輪部が前記車輪部のグループを画定しており、各グループが前記車輪部の対を有しており、
各対の車輪部の前記車輪部の前記スポークが、前記対応する車輪部の前記ハブから前記同じリム部に延在する、請求項１～６のいずれか一項に記載の車輪。
【請求項８】
前記リム部が、前記展開された位置において、前記車輪部の周囲の円周帯上に経路を実質的に画定する、請求項１～７のいずれか一項に記載の車輪。
【請求項９】
前記車輪部の前記回転軸と同軸である各車輪部の中心孔内に挿入可能であることにより、各車輪部の前記ハブを取外し可能に受領するように構成された車軸をさらに備え、各車輪部が前記車軸に対して回転可能である、請求項１～８のいずれか一項に記載の車輪。
【請求項１０】
車輪を製造する方法であって、
複数のリム部を形成することと、
複数の車輪部を形成することと、を含み、
各車輪部が、回転軸を画定するハブおよび前記ハブに取り付けられた少なくとも１つのスポークを備え、前記少なくとも１つのスポークが、前記ハブから対応する１つのリム部に延在するとともにそのリム部に取り付けられており、前記複数の車輪部が、折り畳まれた位置から展開された位置に前記回転軸を中心に互いに対して回転可能に構成され、前記折り畳まれた位置において、各車輪部の少なくとも１つのスポークが、隣接した車輪部の少なくとも１つのスポークに対して第１の角度で半径方向に離間され、前記展開された位置において、各車輪部の少なくとも１つのスポークが、隣接した車輪部の少なくとも１つのスポークに対して前記第１の角度より大きい第２の角度で半径方向に離間され、各リム部が、前記折り畳まれた位置および前記展開された位置において前記少なくとも１つのスポークに取り付けられる、方法。
【請求項１１】
前記展開された位置において、前記車輪部を互いに対して回転から実質的に固定するように構成された、ロッキング機構を形成することをさらに含む、請求項１０に記載の方法。
【請求項１２】
前記折り畳まれた位置において、前記複数の車輪部の前記リム部が３６０度未満で半径方向に広がり、前記展開された位置において、前記複数の車輪部の前記リム部が円形帯を画定する、請求項１０又は１１に記載の方法。
【請求項１３】
前記折り畳まれた位置または前記展開された位置において、前記リム部上に装着可能に構成されたタイヤを形成することをさらに含む、請求項１０～１２のいずれか一項に記載の方法。
【請求項１４】
各リム部上にタイヤ部を形成する、請求項１０～１３のいずれか一項に記載の方法。
【請求項１５】
半径方向に構成されたスロットおよびピンを各車輪部上に形成することをさらに含み、
前記ピンが、別の車輪部の前記スロット内に受領されるように構成され、
隣接した車輪部の前記スロット内部の１個の車輪部の前記ピンの動きが、前記隣接した

車輪部に対して前記１個の車輪部の回転の範囲を画定する、請求項１０～１４のいずれか一項に記載の方法。
【請求項１６】
２個の車輪部の前記スポークが前記対応する車輪部の前記ハブから前記同じリム部に延在するように、前記複数の車輪部を形成することをさらに含む、請求項１０～１５のいずれか一項に記載の方法。
【請求項１７】
前記リム部が、前記展開された位置において、前記車輪部の周囲の円周帯上に経路を実質的に画定する、請求項１０～１６のいずれか一項に記載の方法。
【請求項１８】
ゴルフクラブバッグのためのカートであって、
ゴルフクラブバッグを支持するように構成されたフレームと、
前記フレームに結合されている１対の車輪と、を備え、
各車輪が、
複数のリム部と、
複数の車輪部であって、各車輪部が、回転軸を画定するハブおよび前記ハブに取り付けられた少なくとも１つのスポークを備え、前記少なくとも１つのスポークが、前記ハブから対応する１つのリム部に延在するとともにそのリム部に取り付けられており、前記複数の車輪部が、折り畳まれた位置から展開された位置に前記回転軸を中心に互いに対して回転可能に構成された、複数の車輪部を備え、
前記折り畳まれた位置において、各車輪部の少なくとも１つのスポークが、隣接した車輪部の少なくとも１つのスポークに対して第１の角度で半径方向に離間され、前記展開された位置において、各車輪部の少なくとも１つのスポークが、隣接した車輪部の少なくとも１つのスポークに対して前記第１の角度より大きい第２の角度で半径方向に離間される、カート。
【請求項１９】
前記車輪部が、前記展開された位置において互いに対して回転から実質的に固定される、請求項１８に記載のカート。
【請求項２０】
前記折り畳まれた位置において、前記複数の車輪部の前記リム部が３６０度未満で半径方向に広がり、前記展開された位置において、前記複数の車輪部の前記リム部が円形帯を画定する、請求項１８又は１９に記載のカート。
【請求項２１】
前記折り畳まれた位置または前記展開された位置において、前記リム部上に装着可能に構成されたタイヤをさらに備える、請求項１８～２０のいずれか一項に記載のカート。
【請求項２２】
各リム部がタイヤ部を備える、請求項１８～２１のいずれか一項に記載のカート。
【請求項２３】
各車輪部が、半径方向に構成されたスロット、および別の車輪部の前記スロット内に受領されるように構成されたピンを備え、隣接した車輪部の前記スロット内部の１個の車輪部の前記ピンの動きが、前記隣接した車輪部に対して前記１個の車輪部の回転の範囲を画定する、請求項１８～２２のいずれか一項に記載のカート。
【請求項２４】
前記複数の車輪部が前記車輪部のグループを画定しており、各グループが前記車輪部の対を有しており、
各対の車輪部の前記車輪部の前記スポークが、前記対応する車輪部の前記ハブから前記同じリム部に延在する、請求項１８～２３のいずれか一項に記載のカート。
【請求項２５】
前記リム部が、前記展開された位置において、前記車輪部の周囲の円周帯上に経路を実質的に画定する、請求項１８～２４のいずれか一項に記載のカート。

【請求項２６】
前記車輪部の前記回転軸と同軸である各車輪部の中心孔内に挿入可能であることにより、各車輪部の前記ハブを取外し可能に受領するように構成された車軸をさらに備え、各車輪部が前記車軸に対して回転可能である、請求項１８～２５のいずれか一項に記載のカート。